

インターメディカル
2023 年 管理栄養士国家試験全国統一模擬試験
「かんもし」第3回 訂正とお詫び

この度は 2023 年 管理栄養士国家試験全国統一模擬試験「かんもし」第3回をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

「かんもし」の解説集に以下の誤りがございました。ここに謹んで訂正とお詫びを申し上げます。

【追加解説】

問題 4 解説 (4)

コホート研究においては罹患率が算出でき、リスク比・差が計算できれば、これらの指標を用います。しかしながら、詳細な観察期間が得られない場合などでは、コホート研究においてもロジスティック回帰分析によってオッズ比を求めて指標として用います。 <https://jeaweb.jp/glossary/glossary019.html>

【採点に関わる訂正】

問題 113 選択肢 (4) および解説 (4)

本選択肢「クレアチニン身長係数は、身長が高いほど高くなる。」を正答肢としておりましたが、クレアチニン身長係数が相関するのは骨格筋量であり、身長とは正の相関関係があるとはいえないため、本選択肢は誤りとなり、本問は解なしとなります。なお、本問については採点除外といたします。

【採点に関わらない訂正】

問題 115 解説(4)

正文および解説にて「× 中心静脈栄養の基本輸液剤には、鉄・亜鉛・銅・ヨウ素・マンガンが含まれている。一方、セレン・クロム・モリブデン・コバルトは中心静脈栄養の基本輸液剤に含まれないため、微量元素が欠乏しないよう別途投与が必要となる。」と記載しておりましたが、正しくは「× 中心静脈栄養の基本輸液剤には、糖と電解質のほか亜鉛が含まれている。鉄・銅・ヨウ素・マンガンは基本液には含まれず、微量元素製剤として別途投与が必要となる。一方、セレン・クロム・モリブデン・コバルトは基本輸液剤や微量元素製剤に含まれないため、別途投与が必要となる。」となります。

問題 151 解説

(4) の正文と解説での記述が不一致でした。正しくは以下のとおりです。

(誤) (4) プログラムの実施回数は、プログラムの計画にかかわる評価指標であり、経過評価に当たる。

(正) (4) プログラムの実施回数は、プログラムの計画にかかわる評価指標であり、企画評価に当たる。

訂正内容は個人成績表で受験者に告知するとともに、弊社ホームページでも公開いたします。

(<http://www.intermed.co.jp/>)

2023 年 2 月

株式会社インターメディカル かんもし編集部

Tel : 0120-955-009 (03-5802-5804)

Mail : kanrieiyoshi@intermed.co.jp